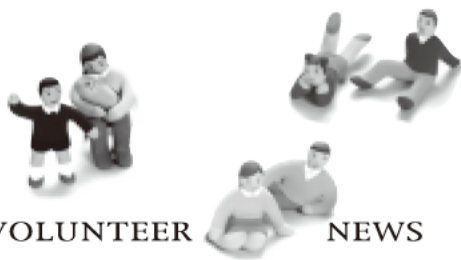


市民活動・ボランティアを始めた人にも…

市民活動・ボランティア ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknp@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

【みえ県民交流センター運営委員会からのお知らせ】

ミーティングルーム3・4の利用ルールの改正について6月13日の運営委員会です承されましたのでお知らせします。

◆ミーティングルーム3・4の予約が7月1日から一部変更になります。
現在、市民活動団体の予約は、6ヶ月前から、行政の利用は当日に限って受け付けていました。今回の改正で、市民活動団体の予約は、従来どおり6ヶ月前から、行政の利用は2ヶ月前から受け付けることになりました。これは、当日予約では行政の計画的な利用が難しいことから改正するもので、予約期間に差を設けることで市民活動団体の利用に影響しないとして承されました。(市民活動団体のイベント情報コーナーの予約は、従来どおり1ヶ月前からになります。)

◆利用届出書の提出については、変更はありません。
イベント情報コーナーとミーティングルームの予約は、従来どおり利用届出書が必要です。届出書は、受付が当センターのホームページで入手できます。提出は、受付窓口、ファックスまたはE-mailで受け付けます。

◆利用目的による制限についても、変更はありません。
趣味、サークル、各種教室の場合は、利用できません。イベント情報コーナーは、イベント、展示、会議、講演に限って利用が可能です。会議はなるべく交流スペースを利用していただき、ミーティングルームは特別な配慮が必要な内容のものに限ります。行政が利用する場合も同様です。
その他の詳細、不明な点につきましては、市民活動ボランティアセンター受付までお問い合わせください。

●問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

市民活動にニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階)/オールウェイズ(津センターバレス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/【有】デザインオフィス荻野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウリアム テルス・アップル まちづくりセンター(伊賀市上野福居町3317)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会館/名張市立図書館/名張青年会館/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)/名張市市民活動センター(名張市夏見2812)/松阪まちづくりセンター「まちなか松阪」(松阪市本町2217)/伊賀市市民活動支援センター(伊賀市馬場128番地)/くらしの情報センター同夢(名張市夏見251-1パークシティ内)

【地域の社会福祉協議会】県内49の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/新宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

つながる つなげる 5 県ボランティアセンター 北出真由美 コーディネーター

みなさんはいろんな場面で、自分はどのタイプなのかあと考えること、ありませんか?
先日、あるボランティア団体の代表の方とお話する機会がありました。その団体の活動内容は、専門的なものなので、ある程度、知識も技術もないと本来の活動はできない内容です。でも、最初から、それを望んでいるわけではないので、活動を始めるにあたって、自分がどの位置にいるのか、今後、どこを目指しているのかをタイプ分けをして、各自で認識してもらっているということでした。その方法はいたって簡単なもので、条件を2つあげて、縦軸・横軸で4タイプに分けるといふことです。例えば、「意欲」と「知識」という2つの条件を挙げるならば、「意欲」も「知識」も高い人、どちらかが低い人、どちらも低い人となります。併せて、今後、自分はどのあたりを目指すのかも考えてもらうのだそうです。
ふと思えば、私もこの方法はボランティア活動だけでなく、どんな場面でも、そして、いつでも使えますよね。仕事では?家庭では?以前はどう?今はどう?条件を考える楽しさもあります。試してみると、今までは、「なんとなく」だったことが形になって表れてくるので、もしかして自分は「わかっているつもり」で、本当はちょっと違う?と気付くことも出てきます。みなさんも一度試してみてください。

「よっかいち創造プラザこらぼ屋」に地域通貨の世界的第一人者マイケル・リントン氏来訪!

5月28日(土)愛地球博・市民パビリオンにて「地域通貨サミット in EXPO 2005」が開催されました。カナダでLETS(地域交換交易システム: Local Exchange Trading Systems)という地域通貨の仕組みを考案し実践したマイケル・リントン氏をメインゲストに迎え、全国から地域通貨実践者が集まり交流しました。四日市からはJファンド運営委員会の海山裕之がJマネーの事例発表を行いました。また、循環者ファンドに協力いただいている地域金融機関の担当者の方にもビデオで協働の様子を紹介いただくとともに、「Jマネーを通じ、地域コミュニケーション活性化のお手伝いが図れたら…」との想いも語っていただきました。この日には「循環者パラダイス」(よっかいち創造プラザ周辺の月に一度行われるJマネー・イベント)の会場と万博瀬戸会場とインターネット・ライブカメラを使って繋がり、好評を得ました。翌日の29日には、縁有ってマイケル・リントン氏をJマネーの活動拠点である「ワン・デイ・シェフレストラ」へお招きする事になり、「日替わりシェフ・ランチ」をとりながら20名程の関係者がリントン氏を囲み、ワンデイシェフ・システムの事や地域通貨の話に花を咲かせました。リントン氏もいろいろな質問に気さくに答えてくださり、夢のような時間を共有する事が出来ました。



循環者ファンド運営委員会 (代表:海山裕之)
Tel.0593-57-5657 Fax.0593-57-5544
E-mail koraboya@m2.cty-net.ne.jp

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



「CSR」とは、企業も社会の一員として、さまざまな角度から、地域社会などに対し、責任ある行動を取ろうという考え方です。

NPOを応援します～「Jマネー定期」と「みえぎんNPOローン」～ (株)三重銀行

三重銀行は6月15日(水)より、三重県内の13法人営業部(本店、四日市中央、四日市南、四日市北、菟野、桑名、鈴鹿、鈴鹿南、鈴鹿西、津、松阪、伊勢、伊賀各法人営業部)において、「みえぎんNPOローン」の取扱いを開始しました。

本商品は、当行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人を対象とした無担保ローンで、NPO法人が国や自治体等から委託金や助成金等を受けて事業を実施する場合に、資金が交付されるまでの「つなぎ資金」ニーズに最高500万円まで対応するものです(図表参照)。

三重銀行では昨年11月に「地域貢献活動サポート定期預金(愛称:Jマネー定期)」を発売し、地域のNPOへ資金サポート(寄付)を行うと同時に、「人と人のつながりを橋渡しするツール」である地域通貨「Jマネー」を普及させ、地域内のコミュニケーションを活性化することを目指してきました。今回は、「みえぎんNPOローン」の取扱いを開始することによって、地域社会で活躍するNPOの活動を、さらに応援することができると考えています。

こうした銀行の本業に深く関わる預金系と融資系の2つの商品は、三重銀行グループと地元NPOが対話・交流を進める中から誕生しました。「Jマネー定期」については、元々、グループのシンクタンクである三重銀総研が、地域通貨の調査研究を行う過程で地元NPOの方々との出会い、そして、循環者ファンドの仕組みづくりの段階から活動に参加し、NPO活動の可能性を肌にしたことが、商品開発

の基礎になりました。

また、「みえぎんNPOローン」については、循環者ファンドの活動などを通じて出会ったNPOの方々との意見交換の結果、「つなぎ資金」ニーズが高いという事情を強く感じたことから、商品開発に取り組んだという経緯があります。例えば、委託・助成事業の規模が数百万円クラスになると、自己資金はもちろん親戚・知人等から資金調達することも難しくなるといった話がよく聞かれましたし、「Jマネー定期」で寄付対象となった12のNPOのうち、選考委員会の評価が高かった団体を招いた当行経営陣との交流会においても、委託・助成事業を実施する場合の「つなぎ資金」融資を、銀行への要望として伺いました。

このように、三重銀行グループは対話・交流を通じて地元NPOのニーズを探り、新商品の開発に取り組んできました。今後も、本業である金融サービスの提供を通じて地域社会に貢献していきたいと考えています。

【NPOローンの仕組み】



みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は9団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備置してあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
(1)伊勢福祉会そよ風(2)関岡益美(3)度会郡御園村大字新開327番地33
(1)三重・建築設備フォーラム(2)安井哲夫(3)鈴鹿市寺家四丁目8番6号
(1)あゆみ(2)水谷多真子(3)安芸郡美里村大字家所2125番地2
(1)愛伝舎(2)坂本久海子(3)鈴鹿市算所1244番地
(1)アートNPOヒューマンシアター(2)陣内和広(3)四日市市蔵町2番9号
(1)木曾三川環境保全機構(2)平野久克(3)桑名市長島町西外面866番地
(1)高齢者の自立した生活を支える会ウイズ・シニア(2)坂口博文(3)亀山市本町一丁目3番21号
(1)カルチャークラブ(2)村田晶夫(3)松阪市嬉野野田町16番地1
(1)日本介助専門員推進協会(2)山本博行(3)津市本町28番14号
(平成17年5月15日～平成17年6月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人 和嬉会愛(17年4月14日)／特定非営利活動法人 NPO伊勢志摩サポート協会(17年5月11日)／特定非営利活動法人 芝生の夢倶楽部(17年5月11日)／特定非営利活動法人 マイトリ(17年5月18日)／特定非営利活動法人 げんき会(17年5月26日)／特定非営利活動法人 うらら(17年6月6日)／特定非営利活動法人 ナースカンパニー(17年6月6日)
(平成17年5月15日～平成17年6月14日届出分)

イベントスケジュール

アムネスティ三重シンポジウム 「表現の自由とは何か?～立川反戦ビラ弾圧事件を考える～」

- とき/7月3日(日)開場PM1:30 PM2:00～PM5:00
●ところ/三重短期大学ホールA・B教室(近鉄江戸橋駅より徒歩12分)
●内容/立川反戦ビラ弾圧事件とは、2004年2月27日、立川にある自衛隊官舎にイラク派遣を考え直そうというビラを投函した三人が、住居侵入罪の疑いで逮捕され、75日間身柄を拘束された事件です。この三人について、世界人権宣言が守られる社会の実現をめざし、世界中の人権侵害をなくすため活動している国際的な市民運動団体アムネスティ・インターナショナルは、日本国内ではじめての良

心の囚人であると認め、即時無条件の釈放を求めました。今回はこの事件の被告であった大西章寛さんと立川反戦ビラ弾圧救援会メンバーの岡田健一郎さんをゲストに迎え、シンポジウムを行います。
●主催・問い合わせ先/アムネスティ三重(担当:猪島 克)
Tel.090-1478-1508 E-mail dosei@jade.plala.or.jp

手で触れて感じる造形美術とピアノ観賞会

- とき/7月3日(日) ●応募締切/6月28日(火)
●ところ/パラミタミュージアム(菟野町大羽根園)
AM11:00頃、近鉄四日市駅集合後、移動。ただし、現地合流も可。
●参加費/交通費と入館料1000円は自己負担です。
●内容/造形美術に親しむ機会が少ない視覚障害者の方々に美術館のスタッフによる解説を聞きながら、実際に手で作品に触りながら観賞するとともにゆったりとした落ち着いた空間の中で生のピアノ演奏を聴くというツアーを計画しました。湯ノ山温泉の麓、豊かな自然の中にたたずむパラミタミュージアムは版画家、池田満寿夫のコレクションを中心に展示する岡田文化財団の美術館です。
●主催・申込・問い合わせ先/特定非営利活動法人 三重補助犬普及協会(担当:内田順朗) Tel.059-262-4465
E-mail robin103@zvtv.ne.jp (事務局)Tel.059-222-8419

宮川流域案内人の企画行事

- 【障壁ありの古の宮川八十八か所めぐり(その7)】
●とき/7月10日(日)AM9:00～PM3:00頃
(小雨決行・悪天候の場合7月17日(日))
●ところ/JR伊勢市駅前集合
●参加費/400円(保険通信費等)拝観料は自己負担。
●内容/いにしへの宮川八十八ヶ所(宮川村汲泉寺周辺)を数十回にわたって、駆けめぐら企画。今回は、伊勢の71番(新道欣浄寺)から88番(吹上不動院)までを訪ねます。対象は行事中、ご自分の安全管理ができる方。参加中の事故などは、主催者は責任を持ちかねます。
●持ち物/お弁当、お茶、甘いもの、雨具、日よけ具
●応募締切/7月1日(金)要事前申込
●申込方法/郵便局で口座番号 00890-3-91646 廣瀬元久に参加費を振り込む。通信欄には「宮川八十八か所めぐり宮川その7」と、各自の住所・氏名・電話番号・生年月日を。参加者は当日、振込票のコピーを持参してください。
●主催・申込・問い合わせ先/廣瀬元久(宮川流域案内人)
Tel.&Fax.0598-87-1106
携帯Tel.090-7040-7102

【アロマコロジー(芳香心理学)とカラーセラピー】

- とき/7月10日(日)PM2:00～PM4:00

●ところ/植物セラピーミュージアム(御園村新開942-3 NPO法人植物セラピー普及協会内 近鉄・JR伊勢市駅北口より大湊行きバス「新開」下車) ●募集人数/15人(要予約)
●参加費/1500円(香り草・アロマオイル・ハーブティー含む)
●内容/アロマロジーとカラーセラピーのノウハウを活用しながら、香りと色で植物セラピーを体験しましょう。
●申込方法/住所・氏名・電話番号・生年月日を下記まで。
●主催・申込・問い合わせ先/NPO法人植物セラピー普及協会(代表理事:西村博子) Tel.&Fax.0596-31-0887

【横輪川で遊ぼう】

●とき/7月24日(日)AM10:00~PM2:00
●ところ/伊勢市横輪公民館集合 ●募集人数/20人(先着順)
●参加費/大人1000円 子ども800円(保険・昼食材料代含む)
●内容/横輪川で遊びながら、川の自然にふれてみましょう。水質検査、いきもの観察、魚釣り等の川遊び、横輪で採れた野菜などを使っているバーベキューを行います。対象は小学生以上。小学生は保護者と一緒に参加してください。
●持ち物/水遊びのできる服装、着替え、ゴムぞうり、箸、コップ、お皿
●申込方法/住所・氏名・電話番号・生年月日を下記まで。
●主催・申込・問い合わせ先/中村菜穂子(宮川流域案内人) Tel.0596-39-0785

構造改革特区・地域再生計画の説明会

●とき・ところ/7月19日(火)松阪地方県民局、21日(木)紀南県民局、22日(金)紀北県民局、26日(火)伊賀県民局、28日(木)南勢志摩県民局 8月2日(火)県民サービスセンター、4日(木)北勢県民局 時間はいずれもPM1:00~PM3:00とPM7:00~PM9:00 ただし、紀南の午後はPM2:00~PM4:00、1紀北はAM10:00~正午です。 ●参加費/無料
●内容/規制を緩和したり今の制度を変えることで地域を活性化する制度、「構造改革特区」と「地域再生計画」に関する説明会を開催します。誰でも提案できる制度ですので、お気軽にご参加ください。
●申込・問い合わせ先/政策推進室(担当:八太・瀧口・丹羽) Tel.059-224-2062 Fax.059-224-2075
E-mail seisaku@pref.mie.jp
ホームページ http://www.pref.mie.jp/D1SOUKI/tokku/

オペラシアターこんじやく座 「あおくとときいろちゃん」

●とき/7月23日(土)PM1:00~
●ところ/四日市勤労者総合福祉センター
●参加費/前売2500円 当日3000円(託児 要予約1500円)
●内容/レオ・レオーニの絵本「あおくとときいろちゃん」が楽しいオペラになりました。遊びの中から歌は生まれ、いつかオペラとなつてはばたきます。いろいろが出会い、絵本からはじめて飛び出していくように、オペラでは声と声が出会い、はじけます。
●主催・問い合わせ先/四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670
子育て広場:ドロップin Tel.0593-53-3728
体験ひろば☆こどもスペース四日市 Tel.0593-21-0883

フェアトレードカフェ

●とき/7月24日(日)AM11:00~PM4:00
●ところ/アスト津3階交流スペース(津市羽所町700)
●内容/今回のテーマは「おしえて!オーガニックコットン」。フェアトレードコーヒー、オーガニック食品、オーガニックコットンなどを通じて、フェアトレードに参加してください。
●問い合わせ先/フェア・トレード抱 Tel.0593-87-0767(すずかのぶどう)

財団法人三重ボランティア基金助成事業

名張子どもの本の連絡会 交流会 「科学絵本・科学読み物の楽しさをぞいっしょに!」

●とき/7月23日(土)PM1:00~PM3:00
●ところ/名張市立図書館 2階視聴覚室 ●参加費/無料
●内容/ブックトークのスペシャリスト、北畑博子さんの講演。参加対象は大人、子ども連れも可ですが、保育はありません。
●募集人数/60人 定員に満たない場合、当日受付もありますが、

会場が狭いので早めに申込みを。 ●応募締切/7月20日(水)
●申込・問い合わせ先/名張子どもの本の連絡会(代表:高見) Tel.0595-68-0226 Fax.0595-65-7588
E-mail ehon@nava21.ne.jp

市民活動のための広報力向上セミナー 「うまく伝える⑤のヒント」

●とき/7月30日(土)受付開始PM1:00 PM1:30~PM4:30
●ところ/伊賀庁舎4階第3会議室(伊賀市四十九町2802)
●参加費/1000円
●内容/広報がうまくいかないのは、言葉やデザインの問題ではなく、「誰に、何を、どういうツールで伝えるのか」ということが整理できていないことが多い。セミナーでは、伝えたいことを整理することからはじめ、多くのことが伝わるためのヒントを教えます。
●問い合わせ先/伊賀びとのおもい実現委員会事務局 Tel.0595-24-8003 Fax.0595-24-8010 E-mail igabito@ict.ne.jp ホームページ www.igabito.jp/vision/

第7回三重薬物依存リハビリセンター(ダルク)フォーラム

テーマ:~薬物依存者本人が赤裸々に語る~

●とき/8月1日(月)PM1:00~PM4:00
●ところ/県津庁舎 ●参加費/無料
●内容/近年、薬物乱用の広汎化、低年齢化などが大きく社会問題化されていますが、依存症のという認識は未だ乏しく、薬物乱用問題と依存症が同じように認識されています。このため薬物の問題を持った本人の家族や周囲もその対応に困惑し、問題を抱えた本人もなかなか回復の道を見つけれずにいるというのが現状です。このフォーラムでは欧米で使われているプログラムを実践し実際に薬物依存から脱却した依存者本人が、薬物、依存、病気、回復について語ります。また、今回は県内の各方面で実際に薬物依存症の回復支援に携わっておられる方を招いてのシンポジウムも行います。
●問い合わせ先/三重ダルク Tel.059-222-7510
心の健康センター Tel.059-255-2151

レッツ・チャレンジ2005

●とき/8月21日(日)~25日(木)4泊5日
●ところ/鈴鹿青少年センターおよび周辺
●参加費/18000円 ●応募期間/7月5日(火)~25日(月)
●内容/自然の中で異年齢の子どもたちが共同生活をしながら、感動ある生活体験や環境学習を中心とした自然体験を行うことで、自然の素晴らしさを知るとともに自然に対する理解や愛情を育てます。また、初めてであった友だちとの集団宿泊体験により、友だちと協調し、思いやる心や感動する心など豊かな人間性を育てます。対象は小学校5年生から中学2年生まで。
●募集人数/42人(応募者多数の場合、抽選)
●申込方法/センター所定の用紙を使用。
●問い合わせ先/鈴鹿青少年センター Tel.0593-78-9811

全国シェルターシンポジウム2005inあいち

『DVを許さない!理解・行動・勇気』~暴力のない社会をめざして~
●とき/9月17日(土)正午~PM5:30、18日(日)AM9:00~PM2:00 ●参加費/各日3000円
●ところ/名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1-1)
●内容/DV(ドメスティック・バイオレンス)をはじめ、暴力のない社会にするためにはどのようなことが私たちにできるのか。また、DVをなくすために何ができるのか。そして、被害者を支えていくためにはさまざまな機関からどのような援助が必要かなどを考えます。
●応募締切/7月10日(日)
●申込・問い合わせ先/全国シェルターシンポジウム2005inあいち実行委員会 Fax.052-932-5521
E-mail 2005aichi@excite.co.jp

ネットワークのよびかけ

NPOどんとボランティア募集!

NPOどんとでは、松阪市より委託を受け、「障害児サマースクール」の一部を次の日



程で開催します。子どもたちと音楽療法や工作などを一緒に楽しんでいただける方、ぜひお手伝いをお願いします。1日だけの参加でも結構です。なお、傷害保険料と昼食代は、主催者が負担。当日の昼食は、子どもたちと一緒に食事をしていただきます。

- とき/7月25日(月)・29日(金)、8月3日(水)・8日(月)・18日(木)・24日(水) AM9:00~PM4:30 1日だけでも結構です。
- ところ/嬉野保健センター、ハートフル三雲(7月29日のみ)
- 申込・問い合わせ先/特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど Tel.059-254-6080(土日祝祭日を除く AM9:30~PM5:00) E-mail dondo@pasoya.jp ホームページ <http://www.pasoya.jp/-dondo/>

三重県バリアフリーのまちづくり推進協議会の委員募集

三重県では障害の有無や年齢などにかかわらず誰もが社会参加できるバリアのないユニバーサルデザインのまちづくりを推進していくうえで、県民の皆さんから幅広いご意見をお伺いし、事業に反映していくため、三重県バリアフリーのまちづくり推進協議会の委員のうち1名を公募します。委員に選ばれた方が会議に出席された時は、1回につき謝金10000円と交通費等をお支払いします。

- 応募締切/7月1日(金)当日消印有効
- 応募資格/(1)三重県内に居住する方で、平成17年4月1日現在、満20歳以上の方 (2)バリアフリー、ユニバーサルデザインのまちづくりに関心を持ち、意見を述べることができる方 (3)委員就任期間中に県外へ転出する見込みのない方 (4)年数回開催される協議会に出席できる方 (5)国・地方公共団体の議員及び常勤の公務員は、応募することができません。
- 申込方法/応募用紙に「私が考える三重のユニバーサルデザインのまちづくり」をテーマにした課題作文(800字程度)を添えて下記まで直接提出するか(土・日曜日を除くAM8:30~PM5:00)、郵送、E-mailにて。
- 問い合わせ先/514-8570(住所記載不要) 地域福祉室 ユニバーサルデザイングループ(担当:杉崎、小林) Tel.059-224-3349 Fax.059-224-2919 E-mail ud@pref.mie.jp

チャンネルMより

「鈴の音市」参加ミュージシャン募集中
歩行者天国になり多くの来場者で賑わう「鈴の音市」の中の市民ステージで演奏をしていただける方を募集中です。演奏時間は30分間が目安です。

- 申込方法/音楽ジャンル、出演人数をご記入の上、住所、氏名、電話番号、E-mail(携帯メール)を下記まで。
- 【鈴の音市】
- とき/8月6日(土) PM5:30~PM9:00
- ところ/松阪市駅前、中心商店街 ●参加費/無料

「マッチング・ゲート」

アマチュアやセミプロのデザイナー、ミュージシャンに力を発揮してもらえる場を提供するコーディネート事業「マッチング・ゲート」を活性化させます。「依頼を受けて表現する」という面白さと手ごたえを発見し、多くの現場を知ることは、力を付ける近道。プロを招いてのスキルアップ講習会や、メンバー交流会も計画中です。詳しいことは、お気軽にお問合せください。同時に依頼者も追加募集中です。

- 募集部門/1・デザイン部門 2・音楽部門 3・パフォーマンス部門
- 登録方法/マッチング・ゲート登録希望と記入の上、登録部門、住所、氏名、電話番号、E-mail(携帯メール)を下記まで。登録は無料。
- 申込・問い合わせ先/515-0811 松阪市塚本町554-105号室 チャンネルM(担当:米山) Tel.090-3385-6958 0598-22-0908 E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

助成金 ニュース

米日財団 日米相互理解プロジェクト助成

- 受付締切/7月15日(金)
- 助成の対象となる団体/無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。
- 助成の対象となる活動/コミュニケーション/世論:日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論調査、またオピニオン・リーダーなどの各分野におけるさまざまなプロジェクトを通じ、人物、情報、アイデアを交換す

る機会を提供するもの。

- 応募方法/直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。
- 問い合わせ先/米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2 霊南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128 ホームページ <http://www.us-jf.org>

(財)伊藤忠記念財団 子ども文庫助成事業

- 【子ども文庫助成】
- 受付締切/7月16日(土)消印有効
- 助成の対象となる団体/子ども文庫(家庭、地域文庫)をはじめ、その連合体(子ども文庫連絡会)など、児童の読書についての啓発・指導を行っている民間団体、または個人の活動。『1、子どもの本購入費助成』はおおむね3年の活動実績があり、継続した活動が期待できる団体。また、以前に当財団の助成を受けている場合には、受領後5年が経過し、更なる活動が期待できることが条件。『2、子どもの本100冊助成』の場合、活動歴は問いません。
- 助成の内容/『1、子どもの本購入費助成』35件。助成額は1件あたり30万円(定額)。図書等の購入費用を助成。『2、子どもの本100冊助成』1件あたり20万円相当の図書を助成。なお、セット代金が20万円に満たない場合は、差額相当分の図書を別途購入可。a・幼児から小学校低学年向け25件/b・小学校低学年~小学校中学年向け15件/c・小学校高学年以上向け5件
- 応募方法/(社)読書推進運動協議会へ「平成17年度子ども文庫助成」申請書を郵送。申請書の入手は下記申込先に問い合わせるか、(財)伊藤忠記念財団のホームページからダウンロードして使用できます。
- 申込先/(社)読書推進運動協議会 162-0828 東京都新宿区袋町6番地 日本出版クラブ会館内
- 問い合わせ先/(財)伊藤忠記念財団 助成事業部 子ども文庫助成担当 Tel.03-3974-2650 Fax.03-3974-2049 E-mail info@itc-zaidan.or.jp ホームページ <http://www.itc-zaidan.or.jp>
- 【研修助成】

- 助成の対象となる団体/『1、(財)東京子ども図書館(以下TCLと表記)』(1)遠隔地(開催場所は当財団とTCLが協議し決定)で行う研修会・講習会にTCLが派遣する講師の派遣費用(旅費・滞在費)及び講師に対する謝礼や会場費等の開催費の一部を助成します。(2)TCLが東京で開催する研修会、講習会の参加者の中で助成を希望する数名(助成対象者はTCLが決定)に対し、その参加費用(旅費、滞在費等)の一部を助成します。『2、児童図書館研究会(以下児図研と表記)』児図研が平成17年度に開催する全国連絡会の参加者の中で助成を希望する数名(助成対象者は児図研が決定)に対し、その参加費用(旅費、滞在費)の一部を助成します。
- 助成の内容/(1)及び(2)の事業200万円。児図研は100万円。
- 応募方法/各団体へ直接問い合わせ。
- 問い合わせ先/(財)東京子ども図書館 165-0023 東京都中野区江原町1-19-10 Tel.03-3565-7711 Fax.03-3565-7712 児童図書館研究会 105-0004 東京都港区5-9-4関ビル3階 Tel.& Fax.03-3431-3478

第4回マイクロソフトNPO支援プログラム

- 受付締切/7月20日(水)24:00必着
- 助成の対象となる団体/(1)日本国内に活動拠点をもち、日本国内で活動するNPO(法人格の有無や種類は問いません)。(2)法人格を有する場合、活動年数は問いませんが、法人格を持たない団体は2年以上の活動実績を有すること。(3)基本的なITの使用が可能なこと。
- 助成の対象となる活動/「ITの活用」に重点を置いたプロジェクトで、以下のテーマの内いずれか、もしくは全てに当てはまるもの。団体の活動分野は問いません。なお、ITの使用に関しては、原則的にWindowsOSを使用。
- ・人間の可能性を最大限に引き出す活動
- ・社会的課題の解決を目指す活動
- 対象事業の期間/平成18年1月1日~12月31日
- 助成の額/総額2000万円。1件あたり上限300万円。
- 応募方法/ホームページからダウンロードした応募用紙に必要事項を記入し、ファイル名を応募団体の正式名称に変更したものをE-mailに添付して送信。応募用紙の提出、問い合わせはE-mailに限ります。
- 問い合わせ先/E-mail jnp4@microsoft.com ホームページ <http://www.microsoft.com/japan/mscorp/citizenship/ca/npo/>

(財)みずほ福祉助成財団

- 受付締切/7月31日(日)消印有効

- 助成の対象となる団体／【1、事業助成】 原則として1年以上の継続的、組織的活動実績のある法人施設・団体、共同作業所など。個人は除きます。
- 助成の対象となる活動／社会福祉(障害児者(身体、知的、精神)関係)に関する民間の事業・研究。
- 助成の額／【1、事業助成】 年間総額3700万円程度。原則として1件15~100万円程度を限度とします。
- 応募方法／所定の申込用紙を郵送。
- 問い合わせ先／(財)みずほ福祉助成財団事務局 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 Tel.03-3201-2442 Fax.03-5252-8660 E-mail BOL00683@nifty.ne.jp ホームページ <http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi> ※【2、研究助成】もあります。詳細はホームページ参照。

ユニバーサル財団 市民活動助成

- 受付締切／7月31日(日)必着
- 助成の対象となる団体／1、高齢者が活動する市民活動団体。2、高齢者の医療・保健・福祉、まちづくりなど、高齢者を対象とする市民活動を行う団体。
- 助成の対象となる活動／豊かで活力ある長寿社会の実現をめざして、一人ひとりが生き生きと充実した人生を送ることができる新しい世紀の社会づくりやコミュニティ再構築等の活動。
- 助成の額／1件当り上限100万円。
- 応募方法／申請書は下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード。申請は紛失などのトラブルを避けるため、なるべく書留や宅配便で送付。
- 問い合わせ先／ユニバーサル財団 160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008 ホームページ <http://www.univers.or.jp/>

(財)松翁会社会福祉助成金

- 受付締切／7月31日(日)
- 助成の対象となる団体／【1、事業助成】 原則として法人施設、団体、た

だし、法人格をもたないものであっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とすることもあります。個人は除きます。

- 【2、研究助成】 法人施設、団体または研究グループ
- 助成の対象となる活動／社会福祉の向上を目的とした企画であること。
- 助成の額／年間総額1000万円程度。1件あたり原則80万円程度。
- 応募方法／所定の申込用紙を下記ルートで申込む。なお、申込用紙の社会福祉協議会などのコメント欄は県または市町村社会福祉協議会か、県および市町村に記入を依頼してください。
- 1、県・指定都市社協(受付)―申請団体―松翁会
- 2、松翁会(受付)―申請団体―松翁会
- 問い合わせ先／(財)松翁会事務局助成係 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 大手町フィナンシャルセンター3階 Tel.03-3201-3225

第3回MPドリーム助成金

- 受付締切／8月15日(月)必着
- 助成の対象となる団体／三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ
- 助成の対象となる活動／(1)学習会・研修会の開催(2)調査・研究の実施(3)福祉教育・ボランティア啓発の実施(4)ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動(5)器具・器財の購入(6)その他
- 対象事業の期間／平成18年1月1日～平成18年6月30日
- 助成の額／1グループ20万円以内。40グループ以内。
- 応募方法／申請用紙はホームページからダウンロード。応募は郵送にて。
- 問い合わせ先／三重県遊技業福祉連合会 514-0006 津市広明町328 (株)津ビル内 Tel.059-221-1677 Fax.059-227-7332 ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyuo/indexmp.htm>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>



▶▶▶ 桑名市 ▶▶▶

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター
511-0068 桑名市田町33 Tel.0594-27-2700
E-mail miekita@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

子どもお料理探検隊

知人が「子どもお料理探検隊」って知ってる?と言うので新しいテレビ番組かなと思ったら、くわな子どもネットさんの新しい事業なのだそうです。子どもといっても、小学校の二年生から四年生ぐらいの子たちが、月に一回集まって、料理を通じていろいろな体験をするというもの。案内には『子ども達が材料の買い出しから調理・あとかたづけまで、考えあいながら体験します。大人からの支持は必要最小限にとどめます。(危険な行為には注意しますが多少のキリキズなどはあるかも)どんな失敗も笑って乗り切り、みんなでおいしいご飯を食べよう!レシピは季節に応じて栄養士さんが作ってくれます。産地見学にも行きます。』とありました。「材料の買い出しから調理・あとかたづけまで」には、うん、それが大切と思い、「多少のキリキズなどはあるかも」には、うん、それはそうだろうなあと、「産地見学にも行きます」には、食材の生産者さんのことまで想像できるようになるのかと驚きです。「食べる」までたどり着くのに、食材を育て、採り、運び届け、買い、

調理し、かたづけ、保存し、次の食事に備える。そんなながれを体験する料理教室ってあったかなと思ったら、教室ではなく、探検隊というので、なるほどと納得しました。先日は「いっちゃんたまご」さんを訪問して大きな鶏舎を見てきたとのこと。また、いなべ産のお米をお鍋で炊いたり、赤須賀でとれたシジミとサンジルの味噌とを使って汁をつくるなど、地産地消や身近なものを使って料理をつくるようにしているのだそうです。

そういえば最近、何かの記事で、「まわりにすこく気を使う子どもが増えていて、子どもたちがなかなか自分らしさを出せない」というようなことが書いてあったような。「子どもお料理探検隊」では、きっとみんないきいきしているのだろうなあ。大人、元気になるあれ!くわな子どもネットさんでは夏休みには、小学生たちの居場所づくりでキッズハウスを計画しているそうです。大人が自分らしさを発揮する居場所を自分でつくるようになるといいですね。そういう大人とよく出会うのは、そういえば市民活動の現場のような気がします。

特定非営利活動法人 くわな子どもネット
<http://www1.odn.ne.jp/~kuwanakodomonet/>

▶▶▶ 鈴鹿市 ▶▶▶

特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう
鈴鹿市白子駅前18-15 Tel.&Fax.0593-87-0767
E-mail budou@mecha.ne.jp ホームページ <http://www.budou.gr.jp>

二つのお店

亀山市民のショップ「ねこの館」6月19日(日)オープンしました。開店時間: 朝10時から夜8時まで NPO招き猫の会がまとめ役になり、亀山の市民グループ・ボランティアによる市民ショップ「ねこの館」をオープンしました。パソコン相談・修理、日本画教室、手芸作品展示販売、フラワーデザイン、パソコン教室、地産地消の青果物販売などが行われます。

すずかのぶどう「B-チャレンジin白子」7月7日(木)プレオープン
開店時間: 9:30~18:00 日曜・祝日閉店

すずかのぶどうは「情報雑貨店」隣の空き店舗を活用した「B-チャレンジ in 白子」をオープンします。まちづくり、授産施設手作り品展示販売、フェアトレード啓発と展示販売、コーヒー・紅茶・ハーブティのサービスと街のオアシスづくり、情報リテラシー向上支援、ボランティアの活動の場の提供、産・官・学との協働の場、グループ・団体の活動の場の提供を行います。小さな空間のなかで民営・民営の中間支援団体の自立と16分野のNPO活動支援、地元メディアを含め各種団体との協働、鈴鹿市情報化推進への協力、チャレンジドへの支援などを模索・実験・実現するお店「B-チャレンジ in 白子」にぜひ来店ください。



いせ市民活動センター

パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)
 ■開館時間 午前9時から午後10時

7月1日で、パーティ1周年です!

◆平成16年7月1日より、いせコンビニネットの管理運営による「いせ市民活動センター」が始動。無事、1周年を迎えることができました。利用者もぐんと増えてきました。会合の場に、情報受発信に、ご利用くださいな!

パーティ近況

「伊勢楽市でもパーティマーケット!」

5月21日・22日、伊勢神宮外宮周辺が賑わう伊勢志摩の物産市『伊勢楽市』に、パーティマーケット出店。たくさんの方が足を運んでくれました。とても楽しい2日間でした。



「みんなdeパーティ茶屋」



ドリンクコーナーができました

◆センターでは、気持ちよくパーティを作ってもらおうと、みんなで持ち寄りのお菓子とお茶のコーナーを作りました。パーティ茶屋には、4つのルールがあります。

- 1/楽しく市民活動をするためにご利用ください。
- 2/食べた人は、時々お菓子やお茶を持ってきてください。
- 3/食べるだけの人は、空き缶にお金を入れてください。
- 4/みんなが気持ちよく利用できるように、汚くしない。

ホームページも
ごらんください <http://skc.e-ise.net>

■いせ市民活動センターの『協働のすすめ』企画 NPO&行政のゆるやがミーティングはじめました

◆行政とNPOとの協働をすすめるために、行政職員のみならずNPOの活動を知っていただき、協働の実践に役立てていただければ、ということで「ゆるやかな会合」を開催することになりました。お茶やお菓子を食べながら、ざっくばらんに話をする中でNPOに対する理解を深めていただく機会です。第1回は6月に開催。隔月くらいで開催予定です。興味のある行政職員の方、NPOの方はセンターにお問い合わせください。

いせ市民活動センター パーティいせ

伊勢市岩渕1丁目2番29号
TEL 0596-20-4385
FAX 0596-20-4386
Email/skc@e-ise.net



このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

WTAまちづくりセンター情報 TEL: 0595-24-0512 FAX: 0595-24-0072

 住宅の相談	 高齢者の生活支援	<p>2015年会議のご案内</p> <p>7月6日(木) 大山鹿村地区 7月4日(水) 伊賀市中央地区 </p> <p>7月28日(月) 14:00 ~ </p> <p>先B、伊賀市自治会連合会に </p>
-------------------------	----------------------------	--

7月30日(土) 13:30 ~
 伊賀県民会 4Fで
 ...
 ...

TEL 0595-24-0004

伊賀市市民活動支援センター

第2回伊賀市市民活動支援センター運営委員会を開催します
 日時 平成17年7月21日(木)午前10:00~
 場所 伊賀市市民活動支援センター
 内容 支援センターの今後の進め方について 他
 *協働可能ですが、会議室の都合上、人数制限をさせていただきますので、下記までお問い合わせください。

第1回運営委員会の様子は、伊賀市のホームページで公開しています。



センターの入り口には、現在、「紅ばなネット」さんが育てられた紅花の苗がすくすく育っており、芭蕉さんの生誕300周年事業を受け、かつては紅花の産地だった伊賀に再びたくさん咲かせよう、と取り組んでおられます。お近くへお越しの際は、紅花の観賞をかねて、お立ち寄りくださいな。お待ちしております!

休館日:月曜日・年末年始 (臨時休館あり)
 開館時間:午前9時から午後9時
 (ただし、午後5時以降は前日予約が必要です。)

所在地 〒518-1395
 伊賀市馬場1128番地 (伊賀市阿山支所西隣)
 多目的集会所施設内

電話番号 0595-43-1135 (代表)
 FAX 0595-43-2205
 Eメール igasko@icf.ne.jp
 HP <http://www.city.iga.lg.jp>

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。「尾鷲ヒノキ」の良さを伝えるために活動する海山町林業研究会・ものづくり実行委員会の会長、今井さんが紹介してくれたのは鳥羽にあるめだかの学校校長、谷口仙二さん。名刺には夢職(!?)と書かれています。

4月19日。飼育の日にめだかの学校開校

……谷口さんが市民活動などに関わるようになったきっかけは？
 自分の子どもが小さい時に、鳥羽市の子ども会の会長やボーイスカウトの隊長などをしました。あと、幼稚園から中学校までのPTA会長を務めたり。2年前までは鳥羽市の青少年健全育成市民会議の会長をしていました。今はめだかの学校の校長として、いろいろ活動しています。

……めだかの学校とは？
 鳥羽市樋の山の中腹につくったビオトープの広場です。ここは扇野と言われ山本周五郎の小説の舞台にもなった所なんです。眼下には鳥羽湾が広がり、山頂近くには金乃比羅宮鳥羽神社があります。

……めだかの学校を作ろうと思ったきっかけは？
 平成11年2月、世界中で絶滅のおそれのある野生生物の情報をとりまとめたレッドデータブックにめだかが掲載され、いわゆる絶滅危惧種に指定されました。それをきっかけにめだかの飼育を始めようと思い、めだかの学校の開校日を決めました。

……それはいつですか？
 平成12年4月19日です。419で、しいくの日になるでしょう(笑)。この日を目指して、ビオトープと言われる人工でありながら、自然に近い生物のすみかを作りました。

……予定日を決めて、目標にしたというのが具体的ですね。
 私の名刺には「夢職(むしょく)」と書いてあります。人に渡す時には「名刺はカラーですが、夢職(無色)です」と言いながら渡します(笑)。この夢職という言葉には、夢を見て、夢を追って、夢を形にして、夢に日付を入れようという意味が込められています。夢は見ればなしではダメ、日付を入れて、実現しないとね。あと、私は自分の活動にいつもテーマをつけています。めだかの学校の開校と同時に藤の木を1本増えたのですが、これのテーマは「2010年、藤の木の下で」。毎年少しずつ藤は大きくなっていて、5年後の2010年には藤棚も立派になるでしょう。その時が来たら、ここで何かをしたい。その内容は市民の方に考えてもらえればと思っています。
 ……めだか池の他にもいろいろな施設がありますね。
 今はビオトープのめだか池の他、水車が2つに風車、藤棚、足湯な

どがあります。来られた方に「いいですね」とほめられると、いい気になって(笑)どんどん広げてしまいました。ほめると伸びるのは子どもの教育と同じですね。「風が吹けば、桶屋がもうかる」方式で、一つの言葉から次々に連想して、組み合わせています。

……最初に手がけられたのは？
 もちろん、めだか池です。小川を模して作ってあるのですが、ほとんどを私と家族で作りました。他の方にお願ひしたのは一度、ブルドーザーを入れた時ぐらいいかな。小川の周辺に埋めてある石は川の流れを掘り起こす時に出た石で、私一人で全て並べました。この池ではいかに自然に近づけるかということに挑戦しています。

……周囲に草も生えて、すっかり自然な感じになっていますね。特に手を入れなくても水辺を作るというんな植物や生き物が自然に集まってくるのですよ。今はホタルも飛んでいます。これも最初の2~3年、平家ボタルを放流したら、後はすっかり住み着いて、何もなくても飛ぶようになりました。

……めだかの飼育はどうですか？
 めだかは小川にもいますが、別の水槽で飼育して、数を増やしていますよ。これも妻や孫など、家族が手伝ってくれています。

……めだか池から連想が広がって、次に手がけたのは？
 めだかは環境のパロメーターでもありますから、そこから環境をイメージし、クリーンエネルギーに繋がりに、水車や風車をつくりました。

……それもすべて谷口さん自身が作られたのですか？
 水車は鳥羽商船高等専門学校に作ってもらいました。ちょうど国立大学が独立法人化して、「産学官民」の交流が大切だと言っているのでしょうか。それで鳥羽商船の校長先生に「学と観光を結びませんか」とお話ししました。学校側としても市民の方に活動をPRする良い機会ですし、快く引き受けてもらい「プロジェクトYYY」を始動させました。これは「良い子が喜ぶ良い作品」という意味です。第1弾は昔から伝わる伝統的な水車をつくり、その動力を使って広場内の水を循環させ、浄化させるシステムをつくりました。水が竹炭などを通して循環することで水質浄化するだけでなく、小屋内の冷房も兼ねていますし、水の流れが動力に繋がっていることを子どもたちにわかりやすく、目で見えるように木製の人形に繋ぎ、それらが動くよう工夫してあります。鳥羽市にはモーターを作る大きな会社があるのですが、そのモーターは鋳型で作られています。その鋳型の元となる木型を作る木型師さんが、人形はつくってくれました。



水車の力が人形に加わり、人形が動く仕組みです。

……第2弾は？
 おでん水車です(笑)。三角、四角、丸が縦に繋がった水車ですが、上がこんやく、中がちくわ、下を大根に見立てました。第3弾もいろいろ考えているところです。

……風車は誰が作ったのですか？
 これと環境クイズの看板などは昨年、静岡県で開催された浜名湖

めだかの学校 校長 谷口仙二 さんに 聞く



めだかの学校を ふれあい、出会いの場に したいのです。

花博会場で使われていたものをいただきました。私たちの広場の趣旨をご理解いただいて、鳥羽市長さんと商工会議所を通じてお願いし、この広場に置くことになりました。もちろん、これらは公的に使うことという条件がきちんとついています。

……風車の下に小便小僧がいますね。

これは私の遊び心(笑)。風車が回ると水が上がって、小便小僧からセントレア(中部国際空港)に向かって水が出るんです。そんな風にストーリーを作りながら、広げていくのが楽しいですね。

親子が、市民と観光客が、ふれあう場

……足湯のアイデアはどこから?

この広場の下に私が経営している旅館があるのですが、その温泉を引いてきました。

……めだかの学校は誰でも自由に入出入りできるのですか?

もちろんです。私の旅館に泊まれた方は当然ですが、他の旅館に泊まれた方でも、市民の方でも無料で、自由に使ってもらっています。私はめだかの学校をふれあい、出会いの場にしたいのです。一つは親子のふれあいの場です。子どもが「これは何?」と自然を見ながら不思議に思ったことを親に尋ねる。それに親が答える。子どもの成長にはそういうふれあいが必要だと思うからです。もう一つは人情のふれあいの場です。私は観光業に関わっていますから、ここで鳥羽市を訪れる観光客と市民の方がふれあって欲しいと考えています。観光とは美味しいものを食べたり、良い景色を見たりすることも大切ですが、一番大切なのは人情に触れることだと思います。そのためには人に出会わなければならない。めだかの学校は市民の皆さんも、観光客の方も集まる仕組みになっているわけです。私が宿のフロントで「どちらから来られたのですか?」と聞いてみても「なぜ、話さなくてはいけないのか?」と思われることもあるかもしれません。でも、ここに来られた方に「どちらから?」と声をかけると、皆さん、住所や家族構成などいろいろお話くださいますよ。それにめだかは誰もが知っている存在ですから、共通の話題になるんですよ。

……谷口さんの宿に宿泊された方は、この広場を作られたのが自分の泊まっている宿の社長さんだとは知らないのですか?

フロントで配っている扇野里山散策絵図にちよこっと書いてあります(笑)。でも、いつも土いじりができる格好でここにありますから、声を掛けても私が社長だとはわからないでしょうね。あと、宿泊の方を対象に夏休みの期間中毎日、折り紙や草木染め、押し花教室などを開いていますが、これらの教室も「参加したい」と申し出ただけで、どなたで参加いただけます。

……谷口さんの話が聞きたい時も、お願いすればいいのですか? もちろん、ご連絡ください。このめだかの学校にも小学校などから遠足に来てもらったりして、いろいろお話をしています。あと、小学校の



風車のおでん水車が
回る池があります。



総合学習の時間の講師として呼ばれて、離島にも行きました。「めだかの自慢話」と銘打ってお話したんですが、子どもたちが感想文を送ってくれたので、それも掲示してあります。

……これだけの設備を整えるには資金も大変だったのでは? 土地は私のものを開放しています。資金も私の給料から出していますが、結構、かかるんですよ(笑)。

生きてきた道の延長

……ビオトープのテーマにする生物にめだかを選んだわけは? やはり子どもの時の思い出でしょうね。私の生まれ育ちは福井県の越前大野で、19歳の時に鳥羽に来ました。小さい時に小川でめだかを追いかけた思い出が、今のカタチとなって展開されているだけでしょ。めだかの学校は自分が生きてきた道の延長上にあるだけで、何も特別なものじゃないんです。

……めだかの学校を広げるには苦労もあったと思いますが? 何も無いですよ。自分の好きなことをやっているだけですから。

……では、今後の予定は?

めだか池にしてもそうですが、作った物は徐々に変わっていきます。私は変わっていくことが大事だと思っているので、これからも徐々に変わって行けば…。以前、私が青少年健全育成会議の会長をしていた時に、「大人が変われば、子どもが変わる。地域のおじさん、おばさん運動」というのがありました。それを聞いて私は地域のめだかおじさんになろうと思ったのです。それにこのめだかの学校が子どもたちの居場所になり、みんなのふれあいの場になってくればいいなあって。

めだかの学校

住所/517-0011 鳥羽市鳥羽2丁目12番24号
Tel.0599-25-3151(扇芳閣)

谷口仙二さんはこの人を **紹介** します。

野口あゆみさん

バリアフリー対応の観光情報を、障害者の手による調査で集め、体の不自由な方々が安心してできる旅を提供するとともに、地域のバリアフリー度を向上させることを目的に設立されたNPO、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの局長さんです。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。